

## 総合的な学習の時間 「手話教室」

相模原市立串川小学校



### 単元（題材）目標

- 様々な障がいについて理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。
- 一人ひとりが、かけがえのない存在であることを理解し、学級の活動に生かす。

### （１）実施時期

令和元年10月4日（金）

### （２）対象（学年等・人数）

第4学年 34名

### （３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：1名

外部講師：講話講師（ろう者）1名、通訳者1名、講話講師（難聴）1名  
要約筆記者（筆記通訳サークルもみじ）3名

### （４）実施内容

①講演会：「聴覚障がいについて」【全体会】（手話通訳あり）

- ・聴覚障がいの方が困ることについて、聴覚障がいの方から話を聞く。

②手話体験：手話実践

- ・聴覚障がいの方 講師1名 手話通訳者1名
- ・簡単な会話（あいさつ、自分の名前等） ・手話に関する基本的知識
- ・自分の名字を手話で伝える ・手話における拍手の仕方

◎「各自が今後の生活の中でどのように生かしていくか」という視点から振り返る。

※自分から相手に伝えようとする気持ち、また、相手が伝えようとすることを  
わかってもらう気持ちを大切にしようとするような指導を心がけた。

### （５）成果

- コミュニケーションツールとしての手話体験を通して、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。
- 手話に興味を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。  
〈児童感想 一部抜粋〉
  - ・今、自分が当たり前に行っていることは誰かにとっては当たり前ではない。当たり前に行っていることに感謝し、できそうなことから取り組んでいきたい。

### （６）その他

- 次回実施する際は、保護者にも参加してもらえるように、学級便りなどで呼びかけていきたい。